



The Agricultural Society of JAPAN

公益社団法人 大日本農会

東京都千代田区内幸町 1-2-1

日土地内幸町ビル 2 階

TEL 03-3584-6739

FAX 03-3528-8140

オンラインでも同時配信！

令和 7 年度第 4 回農業懇話会のご案内

環境負荷の小さな農業と、それを支える仕組みづくり —坂ノ途中の事例から—

政府が掲げる「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた環境整備が進み、農業生産現場では環境負荷低減に向けた取り組みが始まっています。また、農業への新規参入者※のうち、有機農業に取り組んでいる者は約 3 割**と高い傾向にあります。

しかしながら、有機農業では生産量が少量不安定になりがちなこと、それにより販路の確保が困難であること、必ずしも近隣に参考となる経営体がないことなどが課題としてあげられます。

2009 年に創業された株式会社「坂ノ途中」は、農薬や化学肥料不使用で栽培した農産物の個人宅配や小売店への卸を行っている流通業者で、関西を中心に約 400 軒ある取引農家のうち、8 割以上が新規就農者です。

今回の農業懇話会では、株式会社「坂ノ途中」代表取締役 小野邦彦氏をお招きして、同社が取り組む各種の新規就農者支援や、オーガニックビレッジ実施市町村をはじめとした地方自治体との連携についてお伺いします。

皆さまのご参加をお待ちしています。

※ 新規参入者とは、土地や資金を独自に調達（相続・贈与等を除く）し、新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者

※※「新規就農者の就農実態に関する調査結果—令和 6 年度—」（一般社団法人 全国農業会議所全国就農相談センター）

1 演 題 環境負荷の小さな農業と、それを支える仕組みづくり
ー坂ノ途中の事例からー

2 講 師 株式会社坂ノ途中 代表取締役

小野 邦彦（おの くにひこ）氏

3 日 時 令和7年12月9日（火）午後2時～4時

4 開 催 TKP新橋カンファレンスセンター

場 所 カンファレンスルーム 16B（入場無料）

（東京都千代田区内幸町1丁目3番1号 幸ビルディング16階）

地下鉄都営三田線内幸町駅A5出口 徒歩1分

JR新橋駅 日比谷口 徒歩7分

東京メトロ 霞ヶ関駅 C4出口 徒歩8分

*オンライン方式でも並行して配信します。

（定員：対面50名、オンライン500名）

5 主 催 公益社団法人 大日本農会、一般財団法人 農林水産奨励会

講師の紹介

奈良県生まれ。京都大学総合人間学部にて文化人類学を専攻。

外資系金融機関を経て、株式会社坂ノ途中を設立。

「100年先もつづく、農業を。」というメッセージを掲げ、農薬や化学肥料不使用で栽培された農産物の販売を行っている。提携農業者の約8割が新規就農者。少量不安定な生産でも品質が高ければ適正な価格で販売できる仕組みを構築することで、環境負荷の小さい農業を実践する農業者の増加を目指す。東南アジアで森林保全と山間地での所得確保の両立を目指す「海ノ向こうコーヒー」も展開。「坂ノ途中の研究室」では、自治体、大学や企業と連携した調査、研究や就農希望者向けの研修を実施。農業分野を代表するソーシャルベンチャーとして事業成長を続けている。

アクセスマップ



参加申込先

公益社団法人 大日本農会

E-mail: kouenkai@dainihon-noukai.jp

氏名、所属先、電話番号をご連絡下さい。

オンラインで参加希望の方は、その旨
お知らせ下さい。

申し込み締め切り

オンライン参加：12月8日（正午）

会場参加：定員に達した時点